夕刊
新京日日新聞
新京永樂町四丁目一番地　發行所　新京日日新聞社

脫退通告後の方策
外務省案を可決

〔東京十一日發國通〕政府では正午院内に臨時閣議を開き聯盟脫退通告書及び右理由書脫退後の南洋委任統治問題、脫退後の勞働會議、其他國際會議に對する諸方策に關して内田外相より說明し各閣僚と協議の結果二三の用語を訂正せる外原案可決

首相、外相參内
脫退御諮詢を奏請

〔東京十一日發國通〕齋藤總理と内田外相は十三日參内の筈であつたが、豫定を變更し今日午後五時半參内して聯盟脫退處置案を上奏し樞密院の御諮詢奏請手續を取つた

聯盟脫退と審査委員會

〔東京十一日發國通〕聯盟脫退の御諮詢に關し樞密院では結局政府の方針を支持しやうが目下部内には左の議論があるから審査委員會は相當緊張せる論議が展開するであらう即ち

一、帝國の正當な主張を聯盟をして容れしめなかつたのは外交上不手際にて政府に何等の責任なしとは言へない

一、脫退後は從來の如き外交方針では所期の目的を達し難いが政府今後の外交方針如何を質さん

國際通商時報發行

外交部通商司に於ては滿洲國内に住む一般商民階級に對し海外の事情を紹介する爲め滿洲國關係のものを平易に且簡單に纏めて之を發行すべく計畫中であつたが、愈々其第一回のパンフレツトが出來上つた、「國際通商時報」と名づけ毎月一回刊行の筈

建國周年記念
中央委員會解散

滿洲建國周年記念中央委員會幹事長丁鑑修氏は十一日午後六時から聚寶樓に同委員會委員其他日滿各界代表を招待し同委員會の解散式を擧げたが席上丁委員長の挨拶來賓代表保々協和會常任理事の頌辭があり開宴し滿の美妓接待に當り盛宴であつた

赤峯の流通紙幣は
國幣と日本紙幣
舊紙幣の信用皆無

〔赤峰十一日發國通〕熱河省興業銀行紙幣は舊軍閥の壓制下に濫發され、民國十二年當時に於ては現大洋と同値を有してゐたが、紙幣も現在は下落又下落し、現大洋一元に對し五十元の兌換價値を有するのみで、全く信用失墜してゐるが、今回舊軍閥の一掃により當赤峰市民はその價値を認めず、今や流通紙幣は殆んど滿洲國國幣及び日本銀行、朝鮮銀行紙幣等がこれに換えらるゝに至つた因に熱河興業銀行紙幣は一角、一元、五元、十元の五種で、興業銀行赤峰支店發行額は約百萬元である

山梨大將に
御紋章附銀花瓶を賜ふ

〔東京十一日發國通〕天皇陛下には退役となつた山梨大將に午前十時鳳凰の間で拜謁を賜り御紋章附銀花瓶を賜つた

鮑駐日代表
執政の震災見舞金を傳達

〔東京十一日發國通〕駐日滿洲國代表鮑觀澄氏は十一日午前外務省に内田外相を訪ひ、執政より東北三陸地方の震災に對する深甚なる見舞の辭を傳へ、併せて銀二萬元寄附方を申出た右に對し外相は國民を代表して謝辭を述べ、執政へ傳言方を依頼した

赤峰の市況
俄かに活況

〔赤峰十一日發國通〕皇軍赤峰入城以來流れ案亂の赤峰市政も大いた刷新された。即ち從來は幣制も熱河興業銀行紙幣の濫發と行使強要あり、一方湯玉麟の濫發せる廣信公司紙幣の強制流通ある等、其の統制は全然無かつたが、皇軍入城以來我宣撫班の活躍により市民は安心して滿洲國幣及び日本銀行紙幣の通用を見るに至り、漸次市況も回復し、食糧品其他日常生活必需品の賣買も開始され、奸商の暴利をむさぼる者さへ出るに至つた、之が爲め憲兵隊では公安隊を指導し、商務會をして商品の公定價格を制定せしめ取締りを嚴重にして居る、尚赤峰では十一日午前商務會の總會を開き殆んど缺乏せる物資の補給につき協議したが市民の皇軍に寄せる信頼は絶大なものである

同情週間寄附者

芳名	金額
民政部警務司係友會	七十元
樋口勇九郎	五圓
董暘	五元
磯部信一	二元
木村義郎	二元
平野博	二元
吉田元一	二元
董仁	二元
馬顯異	二元
于猷誠	二元

朝鮮同胞に依る
日滿興隆の途（四）
小笠原省三述

滿洲拓殖の先驅者として

良き爲政者は「適材を適所に置く」ものだ、苟しくも滿洲の實情を識れるものならば内地農民を即時滿洲に移住せしむべしなどゝは云ひ得ない筈である。

滿洲の土を耕作するには、滿洲の土に親しむべき條件を具備しなければならない。農業移民としての日本人は、朝鮮及滿民族に比較にならぬ事は、滿洲在住民の數字が最も良く物語つてゐる。日本人には日本人としての特殊性があるから農耕移民のみを目的とするは「適材を適所に置く」所以ではない、優秀なる智能と卓拔なる技術と豊富なる資本とによつて、われ等は滿洲拓植の上に、他の民族と異れる寄與奉仕をなすべきである、殊更に生活度を低下せしめて即ち農耕移住をする必要はない。物には順序が必要だ、滿洲移住も順序を誤つてはならない。

從來滿洲に於ける朝鮮人は日支兩國から厄介視されてゐた、支那側からは、日本の先驅者と見られ、日本官憲は又其の保護と取締との上より、在滿朝鮮人問題は常に日支兩國官憲抗爭の一原因となつてゐたのである。

然し、滿洲國創建後、從前の惡材料は一掃されたる、日本は其の國策として朝鮮人の滿洲移住を獎勵しなければならない、是は朝鮮同胞を通じての滿洲國へ寄與奉仕する唯一の途でもあるからである。

朝鮮同胞の强味

次に、朝鮮人の滿洲移住に適する所以を記述しやう。

一滿洲と朝鮮とは接壤地なるが故に地理的關係に於いて移住が容易である。

二滿洲は朝鮮人の祖國たりしとの歷史的觀念を有するが故に、其の移住に際しても異域に赴くの感が尠く、心安らかである。

三朝鮮の農民は粗衣粗食に堪え且つ生活簡易なるを以て家族的移住が容易である。

四滿洲國人と朝鮮人とは生活樣式が酷似するが故に移住後も大なる苦痛を感じない

五朝鮮内に於いては小作地を得る事容易でなへ且つ小作料割合に高き故人口稀薄にして小作料低廉なる滿洲に移住せんとする趨勢にある

六滿洲には廣大膏饒なる處女地あり且つ水田耕作に適する地が多い、元來滿洲國人は水田耕作を嫌ひ朝鮮人は欣んで是をなし且つ特殊なる技能を有するが故に滿洲人地主は朝鮮人の小作人を歡迎する

七滿洲に於ける水田耕作は甚だ有利なる爲め、地主より高利なる金品を借用するも之を返濟する事決して難からず（從前の如き惡弊は今後なし）地主は鮮農を信用して土地及金品を容易に貸與する。

八朝鮮人は滿洲人に對し密かに優越感を有すれども、自己、環境に順應するの態度を執るが滿洲人との間が圓滿である。

怪人凱歌（百七十）
（講上演 映畫化）須藤鐘一（畫）瀧秋方

恐怖時代（二）

時の政府を獨占し、政界の多數黨として時めく同政會も、今度の總選擧では果たして現狀を維持する事が出來るかどうかさへも、未だ樂觀を許さぬ情勢であつた。

一方、野黨として殆ど互角の力を以て最終の議會に臨んだ正友黨も、今回の總選擧では、うまく反對黨を凌駕して政權を獲得しようといふ野心を懐いて策動してゐるし之れまでは未だ微かな力しかなかつた無産黨も愈々此の機會に於て多數獲得を目指し、今や死にもの狂ひの活動を開始した。

政界は實に眼ざましき活躍期に入つたのである。

だが、ほんとうの意味で選擧が實行せられたら、在來の政黨なるものは、何れも大概は大崩壊に瀕するであらうと思はれる。たゞ今日の選擧狀態では、果して各自が正當の投票を行ふことが出來るかどうか、それが疑はれたる問題で恐らく未だその大多數は在來の選擧意識で、自分の心にもない投票を他から強いられるであらう。從つて所謂選擧干渉も猖獗な程である。

同政黨の選擧勢力を擁して、自黨を死守しようと計るのも道理であつた。

官邸に於ける與黨幹部の秘密會が、すつかり濟んだのは午後十一時過ぎであつた。

總裁の大谷老が七十八歳の老軀を自動車に托して歸つて行つたのを皮切りとして、十餘名の老若幹部は自用自動車、タクシー、人力車等それ〴〵の乗りものに身をかくし、うるさくつき纏ふ新聞通信記者の包圍を突破して退散した。

そこで官邸の構内は俄にひつそりとしてしまつた。

一番後まで殘つたのは多賀大總裁と、閣内書記官長の門山との二人であつた。

大總裁は、もう既に六十七八、被社會騷ながら、野心滿々たる精力家で、然もそれほど白からず、禿げもせず、顔の色艶も若々しく、誠に年齢よりは十ばかりも下に見えた。

みんなを玄關まで見送つて歸つて來ると、[illegible]

となり、懸命に努めてゐたので」

流石に少し疲勞を覺えたらしく、もう〳〵と煙草の煙りの立ちこめた大廣間の中に、ぼんやりと立つてゐた。それと察して門山がツカツカと歩み寄つて、

「閣下、お疲れでございませう。あちらへお出でになつて少しお休みなすつては？」と、機嫌を伺ふ。

「あ、君もいろ〳〵御苦勞ぢやつたの。まア、あちらへ行つてお茶でも飲まう」

斯う云ひすてゝ、多賀大總裁は先に立つて、のつし〳〵と廊下に出て行くのだつた。―

それから二人は多賀の専用應接室で、香りのいゝ紅茶をすゝりながら、又しても先つきの會議の續きらしい會話を取かはすのであつた。

「大谷君なんか、悲觀説を持つてるやうぢやが、わしの考へでは、今度は中々さうた易くゆかぬやうぢやの。天下の形勢が此の三四年來、非常に惡化したからな」

と、大總裁は、ゆつたりと安樂椅子に腰をかけて、葉巻きの煙りを空にふく。

「それはさうです。決して樂觀を許しませんですよ。然し、我黨には何といつても政府といふバツクがありますからな。都會の生意氣な連中は兎も角、地方へ行つたらどこだつて我黨のものです。選擧の公正など云つたつて、田舎の者にはチンプンカンプンで分りつこはありません。それよりも自分の地方へ鐵道の一マイルでも長く引込んでもらつた方が有難い譯ですからな。なに、滞つても喜んでも過半數を取はずすやうなことはありません。大丈夫ですよ」

「とは、わしも信じてゐるがね」

「それに、我が總裁が大に手腕を揮ふさうですから……」

「あゝ、關手君か。中々チヤベやとやりよるやうぢやの。然しあまりやり過ぎて、反對黨に上げ足を取られても困るからの。そこは、君がよく采配をふつてくれんぢやいかんよ」

「御手前なら御心配御無用です。あれは私の大學時代からの親友でありまして、其の能力その手腕申分のない人物でありますから……」

プスモスに委ね・神秘の都承德を訪ふ

到る處日の丸の歡迎責

錦州にて＝青山特派員發

一　承德までの飛行許可の報を得て記者は雀躍して飛行場に忙いだ、午前七時二十分記者の乘れるプスモス機は爆音勇ましく離陸、陽光を銀翼一ぱいに吸ひながら曉の＝寒風＝を衝いて神秘の都承德を訪問すべく發進をおこした眼下は一面に暗雲が低くたれこめ何にも見えない、太陽の光はまぶしいばかりに直射し平和の光を表徴するかの樣である、機が進むにつれ眼下の雲は千切れ千切れに飛んで熱河の峻峯が目の前に展開されて來た、山、山、山、遠く近く起伏してゐる山が何んと多い事だらふ！熱河と云へばあの一望千里の渺々たる砂漠を聯想してゐた記者の考へは完全に打のめされ、驚嘆の目を見はらずには居られない、それも皆一メートル以上の山ばかりである、禿山のところどころには暗紫色の灌木が茂り山間の殘雪は陽光と相映じ山を化粧してゐる、石本權四郎氏拉致事件で有名な朝陽寺も＝何時＝の間にか過ぎ、北票が眼前に迫つて來る、ここは北票炭の產地として山腹には西洋風の炭坑宿舍が恰度玩具の樣に整然と並び、支那家屋と思白いコントラストを描き出してゐる、爆音に驚いた住民は手に〳〵日滿兩國旗を打振り歡迎してくれる、驛前から朝陽に向ふ道路には大行李を滿載したトラック、荷馬車が延々と蟻の樣な長蛇を作つてゐる、機首を西に北票を後に機は一路朝陽へ、山腹の所々に熱河省民の糧けし畑が見受けられる、省民は大豆、高粱は第二としてこの利益の多いけしを作るさうで、省民に阿片中毒者の多い事之が爲であらふ、廣い河原に出た、大凌河の右岸だ、氷結した大凌河の＝川面＝はきら〳〵と光つてあたりの景色に光彩をそへてゐる、白塔が澄み渡つた青空にくつきりと見へ出した、朝陽である、少し大きな部落には必ずこの喇嘛教の白塔が聳へてゐる、所謂二座塔の一つだらう、この一事だけでも如何に住民が喇嘛教を深く信仰してゐるかが察せられる、町は相當大きく家屋は風が少い故か日本式の屋根ばかりだ、ここでも住民の心からの歡迎を受けた

代議士さんから魚屋に急轉換

鮮魚商スピード屋の主人公

店員までインテリ揃ひ

インテリの魚屋さん——といつただけでも世間の話題にはなるらう、が最高學府を出て曾ては鐵道大臣の秘書であり、つひ此の間まで國家の選良といはれ衆議院議員の肩書まで帶びて最年少の代議士として一代の寵兒と謳はれた彼氏、今はそれらの榮譽をさらりと棄てゝ天秤棒をかつぐ魚屋さんに早變り、正に超スピードの轉身振りである

□　□

首都新京のメーン、ストリート日本橋通を一寸横に這入つた吉野町三丁目、長春座前に近頃かゝげられた「鮮魚商スピード屋」の看板が目につくこゝの主人公こそ今話題の人彼氏なのである、彼氏——三井義刀さんは山口縣小野田の產、嚴父八五郎氏は營口で食料品雜貨並に特產卸商として三信公司及び三井商店の經營者であり、營口では誰知らぬ者もない土地の有力者である

□　□

彼氏は旅順中學から山口高商を出て大正九年京大經濟科を專攻、學業を卒へると直ちに朝鮮銀行本店勤務となり、それから大連、上海、ニューヨーク、東京と各支店を一あたり渡り歩いたものだが、大正十五年鮮銀を退職して一時東京府立高女の教鞭を執つてゐたこともあつた、がその後の彼は世の風雲兒として超スピードの躍進振りを見せたものだ

□　□

濱口內閣の大黑柱として智惠江木の稱ある故政黨顧問元鐵相江木翼氏は實に氏とは切つても切れぬ血緣のつながる伯父、甥の仲である、そんな關係で昭和三年以來江木氏の秘書を勤めたが濱口內閣が成立した昭和四年には代議士に打つて出て見事に當選、齡僅か卅歲にして一國の選良として日比谷の本舞台に立つことになつた、日本で唯だ二人の年少代議士として新聞に雜誌に書き立てられたのは恰度この時のことなのである

□　□

氏の華かな政治家としての生活は濱口內閣から若槻內閣へ昭和四、五、六年と三ケ年間つづいたが民政黨內閣が最後の幕を下して犬養內閣となつてここに氏の政治家としての生活は終末を告げたわけだ、それから僅か一、二年後新京に現はれた彼は昨年十一月「スピード屋」を引受けて三月一日から現在の場所に開業することになつたのである

□　□

彼氏はいま風變りな魚屋として朝早くから夜遲くまで商賣に一生懸命だ、華かな過去の夢は一切忘れたかの如く注文取りにも出れば店にかへると庖刀を片手に鰯の頭をコツリ〳〵やつてゐる、彼氏を知る者懷舊の淚が無きにしも非ずだが彼氏はそんなことには一向頓着なく平氣である、そうしていふ

新京の物價は過度期とはいひ乍らべらぼうに高いそうして商人といふ商人は橫柄な態度が氣に喰はない、自分は永久に市民の身方となつて新京に理想的の私設市場を經營したい

□　□

それが今の彼に取つて大きな理想である、「お蔭で朝から晩までお客樣の絕え間がありません」と大喜びである、この俠、感激して集まつた店員さん逹もいづれも大學出、高商出、中學出といづれもインテリ揃ひであるのも一寸めづらしからう、有爲轉變は世の習ひとはいへ、それにしても彼の生活こそ余りにも急轉換であり、余りにも風變りなものではある（寫眞は三井氏）

激震十日夕

ロスアンゼルス一帶を襲ふ

〔ロスアンゼルス十日發國通〕十日午後五時五十五分當地方に突如激震襲來し、附近一帶に亘つて甚大な損害を與へたが、その後震動は五分乃至十分毎に襲來しつつあり、激動と共に家屋は一齊に南北にゆれ、高層建物は煉瓦が飛び散り、窓ガラスは片つ端から破壞した

中でも被害の甚大であつたのはロングビーチで、同市の商業中心街は全く荒廢に歸した

〔ロスアンゼルス十日發國通〕地震のため市中に在る高さ四百廿八呎のロスアンゼルス市廳建物には物すごい大龜裂を生じ、サンペドロに於ては石油タンク二個爆發、火災を起し、又ロングビーチ市內にも火災起り盛んに燃えつつありロスアンゼルス北部の石油地帶にも火災が起り、黑煙濛々物すごい光景である、今回の地震は過去一世紀間空前の大地震、其の被害地域は長さ二百哩、サンディエゴ一帶に亘つて居る

邦人數百名サンペドロに避難す

〔ロスアンゼルス十日發國通〕サンペドロとロングビーチの日本人町にあるターミナル島の日本人數百名は、地震と共に津浪を恐れ、サンペドロに避難した

午後八時死傷五十三名

〔ロスアンゼルス十日發國通〕十日午後八時迄に判明した死傷者は、ロングビーチで死者廿五名、負傷者一千名、ロスアンゼルスで死者二名、負傷者一千五百名、其他附近の死傷を合すれば死者百五十三名に達して居る、地震と同時に港內碇泊中の米國戰鬪艦隊からは直ちに消防隊及水兵の大部隊がロングビーチに上陸を命ぜられ、震災地の警備に就いて居る

東京市長が羅府市長へ

〔東京十一日發國通〕東京市長代理齋藤守圀氏は十一日午後四時ロスアンゼルス市の地震に關し羅府市長に宛て東京市民を代表して鄭重なる見舞電を發した

滿洲國政府で震災義捐金を募集

滿洲國では過般の東北三陸地方の震災罹災者救濟の爲東北賑災籌備委員を組織し救濟の具體策を考究中であつたが愈々十一日廣く義捐金を募集するに決し、その旨同委員會の名を以つて書翰を全滿各關係方面に配布した

日本全國學生一千名滿洲研究に乘出

今年の暑中休暇を利用して

〔東京十一日發國通〕官私立大學首腦者有志が起となり關係各省、滿洲政府、關東軍、滿鐵などの後援の下に全國大學、專門學校學生約千名を動員し、暑中休暇を利用して滿洲に派遣する計畫が立案された目的は滿洲の理解滿洲國建設事業の正確なる認識等で日滿青年の交驩會も開く筈

小磯參謀長に私信

矢崎參謀より

〔錦州十一日發國通〕服部部隊の名參謀矢崎參謀が軍司令部小磯參謀長に宛てた次の如き私信が公開された

服部部隊が紗帽山の敵陣地を突破して以來敵を急追し冷口に至り更に喜峰口に擊進の途中凌源に來た紗帽山凌源間、凌源冷口間各十數里の追擊を行つた、沿道支那軍遺棄せる死體、兵器、四輪車の狀況實に慘憺たる有樣であつた、自動車は之等死體間を縫つて前進した我軍と遭遇せし敵は新編第一師第百十六師、第百八師、第百二十九旅、第十九旅、第三十二旅、であつた、將來熱河省の兵匪を救ふ途を考へねばならぬ特に食糧、紙幣問題に解決の要あると思ふ

東京大阪名古屋で軍用自動車收容

〔東京十一日發國通〕陸軍省では時局の爲め東京、名古屋、大阪に於て軍用自動車の一〇を收容する必要を生じ今明日中にそれが發令を爲す筈

共匪討伐を忘るな

胡漢民語る

〔廣東十日發國通〕目下香港にあつて北方の形勢を觀傍しつつある胡漢民は在天津の反蔣介石派某氏に對し蔣の態度を嚴重監視すべしと促して來たとて注目されてゐる

日本に對しては唯自力抵抗あるのみ今は國聯も米國もロシアも何の頼りにもならぬ、然し別に共產黨討伐の仕事ある事も忘れてならぬ抗日に名をかりて共產黨討伐の手を緩める事は、此際絕對に不可、今曾く南京政府のなすところ觀んも苦しく依然として爲すところしらずば國家人民のため立たざるを得ず

各省公署に秘書長を置く

滿洲國各省公署に秘書長を置くの件は過日參議府の諮詢を經、三月十一日附敎令第十七號を以つて滿洲國各省公署に秘書長を置くの件を公布した同敎令左の如し

第一條　省公署に秘書長（簡任）を置く

第二條　秘書長は省長の諮詢に應じ必要の事務に參劃す

第三條　本令は公布の日より之を施行す

將士慰問に

娘子軍熱河へ出動

〔錦州十一日發國通〕我軍の行動一段落で戰塵漸く收まつた熱河へ、今度は娘子軍大動員の計畫があるそれは、永い間荒凉たる生活をして居た我將士を慰めやうと粹を利かした或筋が、奉天、新民府、打虎山、錦州等奉山線各地から熱河入り希望の娘子軍を募集し、第一回應募者百八十名から百廿五名を選んで近日錦州へ集結した上北票から行動開始の筈で、娘子軍は朝鮮同胞七十三、大和なでしこ五十二名である

何故滿鐵青年同志會は

結成されたか

昭和六年十二月十一日滿洲事變中の騷然たる世相の中に我々は同志會結成の叫びを擧げた。

我々には二つの目標があつた一は「如何に輿論を推し進めるか」であり、二は「社會事情の變革の後に滿鐵を如何に改造し、進ましむべきか」にあつた。

同志會結成のために我々は最も愼重なる準備を進めた。從つて事變勃發後半歲にして漸やく結成に至り出發したことは、當時の社會情勢より見れば全く立ち遲れの感があつた然し我々は根強く永久の滿洲問題の擔當たらしめんとするために凡有試練をくゞりぬけねばならなかつた。

かくて暫らくは先輩の經驗とその手腕に信賴しつゝ、滿洲問題に我々は敢て觸ることをせず默々として準備した。我々の會の結成とその出發も極めて地味なものとした。

明けて昭和七年一月二十一日長い期間に亘る我々の準備試練は遂に花々しき第一聲を擧げるに至らしめた。大連の講演會は全く空前の大衆的支持の上に開かれた。因習的な滿鐵社員の中から殼を破る孤々の聲だつた。そして我々は何を主張したか。

それは「滿洲經濟發達の爲に國家機關による統制經濟の確立」「その經濟的基礎を見透しの上に「國家的使命を有する滿鐵の政治的基礎確立」更に「國家的役割を積極的に遂行」「及び滿鐵の斯かる使命遂行のために社員自治の確立」が我々の基礎的な態度であつた

更に我々は奉天、撫順と大衆的講演會に於て如何に熱烈なる支持を受けたことか、長春安東に於ては盛んに座談會が開かれた。

輝かしき出發は續けられて行つた。以來我々は凡有言論機關に參劃し內部的には「社員自治確立」への道に勇敢に步を進めた。

以來一ケ年全く我々は益々多くの同志を結成して內部的充實と共に、その運動を擴大し强化して來た。

我々の主張するところは全く絕大な社會的支持に依つてその正しさを證明された。

昭和八年三月一日滿洲國がその輝かしき經濟建設根本方針を發表した。それに多少の相違はあるとしても、全く我々の主張と同一であると言ひ得る。勿論我々はより以上の基礎的、進步的態度を有するが更に我々の今後の運動の繼續によつて再び滿洲國によつて受け入れらるゝ日が來るであらう事を確信する。

我々の運動は常に社會的支持の上にのみ力强く進められる。それなくして我々の運動は全く力無きものとなり終るであらう。

從つて我々は凡有機會に於て大衆的連絡をとる必要がある。これがために機關新聞發行の計畫を未だ當局の許すところとならないが、然も在滿諸言論機關は、新京日日、新京日報、大滿蒙等々は我々に絕大の後援を與へられつゝある。斯くして之等の諸大紙の後援を得て講演會を開催することになつた。

三月三日大連に於けるそれは再び大きな支持を得た。我々は我々が如何に社會の期待と支持の中にあるかを發見した。今我々は新京市民諸君に呼び掛ける。

新京市民諸君!!

我々は諸君によつて必ずや全市的支持が與へられることを期待する！市民諸君！

今や建國二年の春を迎ふるに當つて我々は更に一步前進の基礎を固めねばならぬ！全國民的利益は全國民的努力によつてのみ期待されるであらう。

資本家的獨占を排して國民大衆の利益の上に滿洲統制經濟を確立せよ！

民族協和の上に東亞ブロック經濟を確立せよ！

我々の任務はこゝにあらねばならぬ!!

三陸地方

免租法案議會に提出

〔東京十一日發國通〕十一日の院內閣議では三陸地方の震災による免租法案を議會に提案する事に決定し午後一時半散會した

邦人らしい變死体發見

十一日午後一時五十分頃寬城子北方一間堡附近に邦人の變死体があるのを滿洲國人が發見新京總領事館警察署に屆出た、同署から直に堀內警補及び警察醫急行檢視に向つた死體の懷中に程永山と記した名刺と日本人女の寫眞一枚を發見した、外傷がなく凍死したものと見られてゐるが、身元は判明しない

學良のトラック

一應大連に陸揚げ

〔大連十一日發國通〕春丸に積載した問題の學良のトラックは、今日一應大連に陸揚げしたが明日神戶からフォード社員の來連を待つて塘沽へ轉送か若くは滿洲で賣拂くかを協議決定する筈である

困窮せる朝鮮人を滿人が救助す

大滿洲國王道の光普し

永く軍閥の下に呻吟して居た東邊道も執政溥儀氏の發祥地だけあつて昨年十月の討伐以來既に王道政治光り輝き最近滿鮮人間融和に關し次の如き挿話がある

檢樹林子に移住せる鮮人千家長崔宗錫の窮乏に對し同村長孫入閣、魁以下五名が發起となつて同情金募集の處約四十元集つたので最近崔に交付し引續き募集中であり寬甸縣久財滿村長王は同地移住鮮人三千余戶の本年農作地に於て農作窮乏の被害を救ひ且つ新に移住する鮮人の窮乏を救ふ爲め同村倉庫內の下級穀五十四石を年二分の低利で貸與することとなつた

正隆銀行支店長異動

正隆銀行は三月十日附にて左の如く支店長の異動を發表した

正隆銀行奉天支店長兼撫順支店長　森和一　兼務を解く

倉內末愛　撫順支店長を命ず

矢內駿　正隆銀行預金課長代理を命ず

故日高部長遺骨鄉里へ

名譽ある殉職を遂げた故新京署日高巡查部長の遺骨は十三日午後四時三十分新京發列車で遺族に護られ歸鄉することになつた

遊動警察隊殉職者告別式

去る七日首都警察廳の匪賊討伐隊救援に出動萬寶山附近牛酒房子で壯烈な戰死を遂げた遊動警察隊の、茨城縣警佐田中與之吉、福井縣人警長川島與次郎、茨城縣人警長新堀榮、靜岡縣人警長後藤秀雄の三氏のため十三日午後二時寬城子遊動警察隊で正式の告別式が擧行される

女流浪界の花京山華千代

女流浪曲界のナンバーワン京山華千代を中心とする大一座は來る十五六の兩夜長春座で開演に決定したが、同一行は目下大連で連夜レコード破りの大入滿員をつづけ好評嘖々たる斯界稀な顏揃ひである

幕末異聞

愛慾火箭（二）

作 瀧川駿 畫 村瀬洗舟

馬潟の夜（二）

こゝは天神の森謎湖、馬潟の闇戸の落口だつた。

手附の森を離れた庭に、常夜燈が一つ、ぼうと闇の中に灯つてゐた。孤を下した茶店の縁先に、

「おい姐さん、一寸待つて呉んな！」

「誰だい？」

「わつしです」

「なんだい。誰かと思つたら猪之さんぢやないか」

眉闇の中で女は振り返つて、暗い男の影を見た。門付けでもするのか、三味線を袂で包んで、廊下に立つてゐた。若く見えるが二十五六といふ年増盛り。くつきりと抜ける程白い地肌の色艶、それで小股の切れ上つた仲せ仕立て、頭髪は、洗ひ髪を自然に結んだ束ね。紫弛に御召の縮入一重、繻子上の博多帯を、引き上げに結んだ結法が、女が美いだけに凄く見える。

「姐さん、前から何回も言ふ通り、わつしと一緒に江戸へ戻りませうえ」

[illegible]りを取つて肩にかけ、白縮緬の蹴出しの裾を、くるりと捲くると、その脚にしやがんだ。

「えゝ、姐さん断らうよ。出雲くんだりまで來て、この夜更けに雨に打たれて辛勞をする事はないやね」

かう言つた男、それは江戸の親分櫻挪の半七の兒分、門の猪之助だつた。

「まあ、打擲つて置いてお呉れ、妾はどうしても與四郎さんの事が忘れられないのだから、お前さんは一足先に江戸へ歸つて親分にさう言つておくれ、お君は二度と江戸の土は踏みません、出雲の土になるんですと、ね。だが親分の事は一生忘れませんとね」

「仕様がねえ、悪い病が憑られたとは、江戸に居りやあこんな苦勞をせずとも濟むのに、苦勞な女だなあ！」

猪之助は、あきれたと見え、吐き出すやうに言ふ。

「衛門様も、こんな美しい女に死ぬほど惚れられて知らぬ顔とは、男冥利に盡きやうわい」

「その事は言つてお呉れでないよ、妾、妾は……」

幽みを知らぬ無智な女が、突き詰めると、前後の考へもなく狂亂する。でも與四郎さん、衛門様、こんな言葉を聞くと、渋閉の中に暗かしく、やがて、闇の中へ消えて行つた。

「猪い降りになりやがつたな」

猪之助は、暗い闇空を眺めてゐたが、そこにあつた番傘を頭に被ると、着物の裾を端折つて、これも闇の中へ突ッ走つて行つた。

× × ×

飲めば飲む程、神経が昂くなつて來る與四郎は、刀を提げて階段を降りて來た。

「亭主、傘を一本貸して呉れ」

「衛門様、雨が降つてみるやうで御座います。駕籠を申しつけませう」

「駕籠は陰氣ぢや、醉ひざましに濡れて行かう」

と、後から、小女の差しかけた傘を受取つた。

「お一人歩ひで御座いますか？」

「途中に用を思ひ出した。また引き留められて飲まされると面倒ぢや、斷らずに一足先に歸るから、皆の衆に傳へて置いて呉れ」

かう言ひ捨てて、雨の闇の中へ出て行つた。

天神の石段二十七を、降りきると、宍道湖の汀に添つて左へ廻つた。

馬潟の闇戸の落口の所まで來ると、

「エイ！」

呼吸を計つた太刀先が、與四郎の前へ閃いた。思はず身體をよけると、今度は眞向から打込んで來た。傘を持つてゐた手を離すと身體を左へかはして、のめつて行く闇の避を、とんと蹴つた。闇みを喰つて顚倒した一人はしぶきを立てゝ湖の中へ落込んだ。

三月十三日 月曜 戊寅 先勝 閉 心宿

●一白の人 何物も妨ぐること能はざる隆運日 起業入吉 乙さ亥さ丑が吉

●二黒の人 心身共に落付かず旅行移轉企業等何れも凶 丙さ辛さ丑が吉

●三碧の人 手紙費付け等人の手に殘る物には注意の日 乙さ申さ亥が吉

●四緑の人 苦は去りて追々に樂しに向ひ來る日 金談は凶 乙さ未さ亥が吉

●五黄の人 油斷すれば逆行し易き日 今談或は約束事凶 丙さ庚さ丑が吉

●六白の人 内に英氣を養ふて輕擧妄動は深く戒むべし 甲さ乙さ丙が吉

●七赤の人 事成るに近づきて瞬間に破敗を生じ易き日 庚さ辛さ寅が吉

●八白の人 氣分軟弱に陥り易き日 無理をすれば損あり 丁さ辛さ丑が吉

●九紫の人 心の曇は取れて愉快に物事の運び行く良日 戊さ亥さ壬が吉